

イネ縞葉枯病を媒介するヒメトビウンカを防除するため
箱施用剤を用いた防除対策を実施しましょう！

令和 6（2024）年 11 月に、イネ縞葉枯病（写真 1）の媒介虫であるヒメトビウンカ（写真 2）の越冬世代幼虫の保毒虫率と生息密度の調査を実施しました。調査結果を参考に適切な防除対策を実施し、縞葉枯病の発生を防ぎましょう。

- ヒメトビウンカのイネ縞葉枯ウイルス保毒虫率は、県平均 5.0％と昨年（4.4％）と同様でしたが、防除が必要とされる保毒虫率 10％を超えていた地点がみられました。保毒虫率の推移を地域別に比較すると、直近 3 年間では、県北部および県中部は増加傾向にある一方で、県南部はほぼ横ばいでした（表 1）。
- ヒメトビウンカの越冬世代幼虫の生息密度は、県平均 3.9 頭/10 m²と平年より低い結果でした（図 1）。

表 1 ヒメトビウンカ越冬世代幼虫の
イネ縞葉枯ウイルス保毒虫率（％）

年度 地点名	R4 2022	R5 2023	R6 2024
大田原市蛭畑	0	4.2	2.1
大田原市親園・実取	2.1	0	3.1
那須烏山市滝田	1.0	0	1.0
さくら市蒲須坂	3.1	6.3	8.3
高根沢町花岡	2.1	3.1	11.1
県北部平均	1.7	2.7	5.1
真岡市横田	－	5.2	3.1
宇都宮市横山	1.0	7.3	2.1
宇都宮市雀宮	3.1	5.2	21.9
上三川町上三川	6.3	14.6	6.3
鹿沼市酒野谷	1.0	4.2	9.4
県中部平均	2.9	7.3	8.5
下野市小金井	1.0	5.2	2.1
小山市小葉	4.2	3.1	3.1
小山市石ノ上	0	4.2	2.1
壬生町助谷	2.1	5.2	2.1
栃木市惣社	3.1	5.2	0
栃木市大平町真弓	1.0	4.2	11.5
栃木市藤岡町富吉	1.0	1.1	5.6
佐野市堀米	4.2	4.2	0
足利市上洪垂	0	2.1	0
県南部平均	1.9	3.8	2.9
県平均	2.1	4.4	5.0



写真 1 イネ縞葉枯病（ゆうれい症状）



写真 2 ヒメトビウンカの幼虫

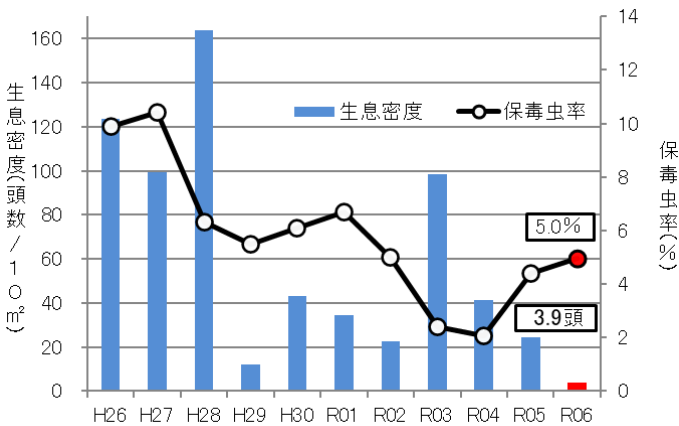


図 1 ヒメトビウンカ越冬世代幼虫のイネ縞葉枯
ウイルス保毒虫率及び生息密度の推移

□防除対策

水稻の育苗時に箱施用剤（表 2）を使用し、ヒメトビウンカを防除する。特に、前年に縞葉枯病が多発したほ場に作付けする場合には防除を徹底する。

表2 ウンカ類に登録のある主な箱施用剤（令和7（2025）年2月28日現在）

農薬名	使用量	使用方法	使用時期	本剤 の 使用 回数	成分	農薬の系統	RAC コード					
●殺虫剤												
リディアNT箱粒剤	育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 50g	育苗箱の上から均一に散布する。	は種時(覆土前)～移植当日	1回	フルピリミン	その他	I:4F					
フェルテラゼクサロン箱粒剤				1回	トリフルメゾピリム	その他	I:4E					
ゼクサロンパディート箱粒剤					クロラントラニリプロール	ジアミド	I:28					
					1回	トリフルメゾピリム	その他	I:4E				
					シアントラニリプロール	ジアミド	I:28					
●殺虫殺菌剤							ウンカ類以外の主な適用病害虫					
							ニカメイチュウ	カメムシ類	いもち病	紋枯病		
稲名人箱粒剤	育苗箱 (30×60×3cm、使用 土壌約5L) 1箱当り 50g	育苗箱の上から均一に散布する。	は種時(覆土前)～移植当日	1回	オキサザスルフィ ル	スルフィル	I:37	○		○		
防人箱粒剤				1回	イソチアニル	その他(殺菌)	F:P03					
					トリフルメゾピリム	その他	I:4E					
					クロラントラニリプロール	ジアミド	I:28					
					イソチアニル	その他(殺菌)	F:P03					
スタウトダントツ箱粒剤				1回	クロチアニジン	ネオニコチノイド	I:4A	○		○		
イソチアニル					その他(殺菌)	F:P03						
エバーゴルフォルテ箱粒剤					1回	イミダクロブリド	ネオニコチノイド	I:4A			○	○
						イソチアニル	その他(殺菌)	F:P03				
				ペンフルフェン		SDHI	F:7					
ルーチンアドスピノ箱粒剤				1回	イミダクロブリド	ネオニコチノイド	I:4A	○		○		
					スピノサド	スピノシン	I:5					
					イソチアニル	その他(殺菌)	F:P03					
ツインターボ箱粒剤08	1回	クロチアニジン	ネオニコチノイド	I:4A			○					
イソチアニル		その他(殺菌)	F:P03									
ロングリーチ箱粒剤	移植3日前～移植当日	1回	ジノテフラン	ネオニコチノイド	I:4A		○*	○				
		プロベナゾール	その他(殺菌)	F:P02								
Cs.オリゼリディア箱粒剤		1回	フルピリミン	ピリジリデン	I:4F	○		○				
	プロベナゾール		その他(殺菌)	F:P02								

・ウンカ類以外の主な適用病害虫は、○のある病害虫に登録がある。
・*ロングリーチ箱粒剤でカメムシ類を防除するときは移植当日に使用する。

詳細は、農業総合研究センター（TEL 028-665-1244）まで
お問合せ下さい。病害虫情報発表のお知らせは「農政部X（旧ツイッター）
(@tochigi_nousei)」、栃木県農業総合研究センターホームページ
(<https://www.pref.tochigi.lg.jp/g59/>)でもご覧になれます。

